

2018年度稲魂賞受賞者

(敬称略)

No	区分	氏名	内容
1	個人	森 琢真	校友会奨学生で2018年度副総代となった。
2	個人	原子 弘務	平成30年度全日本通信珠算競技大会一般の部で優勝した。
3	個人	金子 暁	日本の高校生向けのサマースクールを運営する、小松サマースクール2018実行委員会において、実行委員長を務めた。小松サマースクールは活動内容を評価され、平成30年度国際交流基金地球市民賞を受賞した。
4	個人	三井 新	WAVOCが展開する早稲田ボランティアプロジェクト(ワボプロ)「海士ブータンプロジェクト」の初代代表として、「地域創生」をテーマに掲げ、島根県隠岐郡海士町とブータンを舞台に活発な活動を続けた。
5	個人	児嶋 美織	第34回全国硬筆コンクールおよび第34回全国学生書き初め展覧会<硬筆の部>の2つのコンクールで文部科学大臣賞(全国1位)を受賞した。
6	個人	渡邊 聖未	第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン)の柔道女子63kg級にフィリピン代表として出場し、フィリピン柔道連盟史上初のメダルとなる銀メダルを獲得した。
7	個人	仲野 春花	第101回・第102回日本陸上競技選手権大会の女子走高跳で2連覇を達成し、2年連続で社会人を含む日本一に輝いた。
8	個人	渡辺 一平	リオデジャネイロオリンピックに出場し、競泳男子200m平泳ぎで6位に入賞した。2017年1月に競泳男子200m平泳ぎの世界記録を樹立した。
9	個人	渡部 香生子	第16回世界水泳選手権大会、第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン)に出場し、いずれも競泳女子200m平泳ぎで金メダルを獲得した。
10	個人	村岡 桃佳	平昌パラリンピック冬季大会に出場し、女子大回転(座位)で金メダルを獲得したほか、出場全5種目でメダルを獲得し、パラリンピック冬季大会の一大会における日本選手史上最多記録を更新した。
11	個人	船水 颯人	第25回全日本シングルス選手権大会の男子シングルス、73回天皇賜杯全日本ソフトテニス選手権大会の男子ダブルスで優勝し、シングルス、ダブルスの両方で社会人を含む日本一に輝いた。
12	個人	小島 亨介	Jリーガーが中心のU-21日本代表に学生として選出され、第18回アジア競技大会(2018/ジャカルタ・パレンバン)に出場し、サッカー男子の銀メダル獲得に大きく貢献した。
13	団体	柔道部 女子部	第27回平成30年度全日本学生柔道優勝大会の女子三人制で優勝し、3連覇を達成した。
14	団体	ヨット部	第84回全日本学生ヨット選手権大会で総合優勝し、2年ぶり学生日本一に輝いた。
15	団体	ラクロス部 男子部	第10回ラクロス全日本大学選手権大会で優勝し、5年ぶりに学生日本一に輝いた。
16	団体	少林寺拳法部	第52回少林寺拳法全日本学生大会団体の部で優勝し、学生日本一に輝いた。
17	団体	学生環境NPO環境ロドリゲス	校友による校友のための祭典である稲門祭において、校友と活動をともにし、祭典の成功に多大な貢献をした。
18	団体	早稲田祭運営スタッフ	校友による校友のための祭典である稲門祭において、校友と活動をともにし、祭典の成功に多大な貢献をした。
19	特別賞	小林 麻理	早稲田大学政治経済学術院教授を経て、2013年8月より会計検査院検査官。2018年12月より女性初の会計検査院長を務める。
20	特別賞	北川 悦吏子	脚本家・映画監督。2018年5月に第17回坪内逍遙大賞を受賞し、2018年4月から9月まで放送されたNHK連続テレビ小説「半分、青い。」でも話題となった。